

こんな活動です

ゆいまーる きよざと プロジェクト

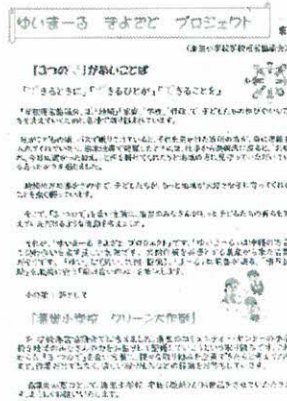
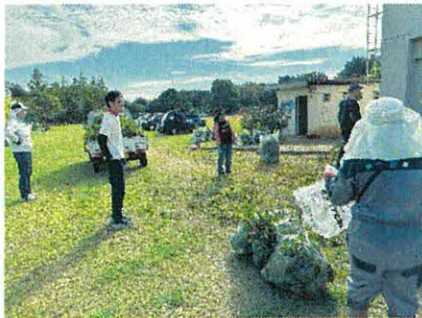
関係する学校名

清里小学校

連携・協力団体等

学校運営協議会 PTA

活動内容・特徴や工夫等



「3つので」があいことば・・・「できるときに」「できるひと」が「できることを」

「3つので」を合言葉に、児童の「育ち」を支える組織づくりを行いました。その第1弾として「清里小学校 クリーン大作戦」を学校運営協議会では考えました。清里のコミュニティー・センターの小学校を地域のみなさんの力をお借りして整備していこうという取り組みです。これからも、「3つので」を合い言葉に、様々な取り組みを企画できたらと考えています。作業だけではなく、楽しい取り組みなどの提案を皆さんから集めて、活動を充実させていきたいです。

《成果》

地域の方に参加をしていただくことで、学校の様子を広く知っていただくことができるようになった。参加いただいた方の声を運営協議会だよりなどで地域に届けることができた。

《課題》

今年度途中にスタートしたこともあり、活動内容の周知ができづらかった。1年間の見通しをわかりやすく整理することで、より充実した活動になると思われる。活動表については、現在作成中である。

こんな
活動です

合同防災実践 ～学校と地域の共同による防災プロジェクト～

関係する学校名

荒尾市立桜山小学校

連携・協力団体等

桜山小学校運営協議会、桜山地区協議会、熊本日日新聞、保護者、校区の方々
【民生委員、荒尾市消防団、食育改善推進協議会、荒尾市・・・R5年のみ】

活動内容・特徴や工夫等

- ・本校では、学校と地域の共同による防災プロジェクトに取り組むことで、防災についての行動力を高めるために、合同防災実践を実施している。今年度は、荒尾総合防災訓練（避難所運営訓練）と兼ねて実施した。
- ・7月に防災熟議を実施。児童5・6年生と運営協議会委員の方々が参加し、班毎にどんなブースがあったらいいか案を出し合った。8月の学校運営協議会運営委員会にて、市の避難所運営訓練と並行しての実施について協議した。



- ・11月12日（日）合同防災実践 8：30～12：30

6年生・・・各担当ブースの準備（9ブース）

全児童体育館集合

班編制（5年生をリーダーとし、縦割り班）

班毎に各ブースを回る（90分間 10分で移動）

体育館に集合し感想発表

防災食（炊き出し）を食べて下校

【ブースの内容】

- ・防災クイズ
- ・防災バッグの中身
- ・水消火器体験
- ・心肺蘇生体験
- ・煙体験
- ・防災に関する動画視聴
- ・防災用携帯トイレ
- ・防災用湯沸かし体験
- 等



- ・市の合同防災訓練（避難所運営訓練）が同時時間帯で実施され、地域の参加者は、6先生が運営する防災実践に途中から参加された。

《成果》

- ・市との共同開催だったため、地域の方々との交流もあり、地域と共に協働するという意識が高まった。
- ・継続して熟議や実践を行ってきたので、活動が充実し児童の達成感も高まっている。

《課題》

- ・活動の継続と内容の充実を図ること
- ・備えなど行動化を図ること

こんな
活動です

サマースクール学習ボランティア

関係する学校名

荒尾市立荒尾海陽中学校、荒尾第一小学校
万田小学校、清里小学校

連携・協力団体等

各小中学校運営協議会

活動内容・特徴や工夫等

- ・中学生が自分の卒業した小学校で行われるサマースクール（学習会）に行き、丸付けをしたり児童がわからないところを教えたりするなど学習のサポートを行う。
- ・中学校の学級担任から参加を呼びかける。夏休み前に参加希望者を集め日程、服装、持参するもの、行き帰りの交通マナーや小学校での児童や先生方への接し方などについて指導を行う。



生徒の感想

- ・丸付けをしたら「ありがとうございます」と言ってくれてとてもうれしかった。来年も参加したい。
- ・小学生がわからないときにヒントを出したら「わかった」と言って問題を解くことができた時がうれしかった。

《成果》

- ・中学生の行動や態度が小学生の模範となっている。
- ・小中連携の1つの大きな方法である。

《課題》

- ・小学校からの要望に対して、参加する中学生の数が少ない。
- ・日程、期日が天候等によって左右されるので調整が難しい。

こんな
活動です

好きです三中！！ 「地域事業所と行政を活用した 進路選択の授業づくりのあひ方」

関係する学校名

荒尾市立荒尾第三中学校

連携・協力団体等

荒尾市事業所 荒尾市教育委員会 玉名教育事務所

活動内容・特徴や工夫等

本校 2 年生は、様々な職業について、その職業に求められる人材、重視されること、やりがいなどを知り、将来の職業選択の一助とするために総合的な学習の時間に職業講話等を行った。

【STEP1】アンケートの実施

夏休み前に聴いてみたい職業のアンケートを実施し、できるだけ生徒の希望に応じた職業を絞り込んだ。また、地元の事業所から講師を派遣していただくことで、職業に対してより実感を持つことができると考え、推進員には地元の事業所からの講師派遣を依頼した。

【STEP2】職業講話の実施

夏休み期間中に、推進員に講師を決定していただき、9月に2日間の日程で、職業講話を行った。以下の事業所に講話を行っていただいた。(1事業所あたり15分)

- ・荒尾市中央保育園様 ・旭製作所様 ・新生翠病院様 ・楽菜ダイニング喰堂様
- ・グリーンランドリゾート様 ・アヴィアンシェリー様

【STEP3】「親の学び」講座次世代編の実施

職業講話で高まった生徒の職業観をさらに高めるため、10月に玉名教育事務所と荒尾市教育委員会より2名の社会教育指導主事に来校していただき、「将来の夢に向けて、今の自分に必要な力を考えよう」をテーマに、「親の学び」講座次世代編を実施した。講座では、班別協議を行いながら職業観をさらに育むことができた。



《成果》地元の事業所の方々の講話を行うことで、職業に対するイメージや実感を得ることができた。また、「親の学び」講座次世代編では、行政と連携したグループ協議を通して、主体的、対話的で、深い学びにつなげることができた。STEP3までの学びの連続性が効果的であった。

《課題》今回は日程の都合上6事業所への依頼となったが、事業所をさらに増やすことで、生徒のニーズに幅広く対応することができると思う。また、「親の学び」講座次世代編は、単発で終わらずに、教員が実態に応じて積み重ねることで、教育的効果が高まると考えられる。

こんな
活動です

校内席書大会ボランティア(2024年1月12日午後)

校内席書大会に、書道の指導ができる地域の方にご参加いただき、ご指導いただくことで、良い作品を仕上げることができました。

関係する学校名

荒尾市立荒尾第四中学校

連携・協力団体等

荒尾第四中学校学校運営協議会

活動内容・特徴や工夫等



推進員の濱口さんにお世話いただいて、8人のボランティアの方に来ていただきました。午前中、小学校の席書大会でご指導いただいた方も、午後の四中の席書大会に駆けつけてくださいました。



各教室で、クラスごとにご指導いただきました。作品に朱を入れていただくことで、より良い作品を仕上げることができました。



できあがった作品は、教室掲示等で活用しました。優れた作品は、玉名荒尾の書き初め展に出品されます。

《成果》

○専門性を持った地域の方にご指導いただくことで、選りすぐれた作品を仕上げることができた。

《課題》

○市内の他中学校の指導もされているため、ボランティアの方の負担にならないように日程の調整が必要。